

— 医療機関からの紹介予約について

北大病院 紹介予約

患者さんを北大病院へ紹介いただく場合はFAXにてお申し込みください。

受付曜日：月～金

受付時間：8時30分～17時00分（16時30分以降の受付は翌日対応になります。）

※翌日の予約は15時00分までにお申し込みください。

電話番号：011-706-6037

FAX番号：011-706-7963

医事課新来予約受付担当・紹介予約

— 患者さんからの予約申込み方法

[予約受付専用窓口]

TEL. 011-706-7733

精神科神経科受診の場合は、

011-716-1161（代表）にお電話をお掛けください。

リハビリテーション科受診の場合は、

011-716-1161（代表）にお電話をお掛けいただき

「リハビリテーション科受診予約希望」の旨をお伝えください。

[予約受付時間]

平日9時00分～16時00分（翌日の予約受付は15時00分まで）

電話予約の際は以下の内容を確認させていただきます

- | | |
|----------------|-------------|
| ■ 氏名 | ■ 受診希望の診療科 |
| ■ 性別 | ■ 北大病院の受診 |
| ■ 生年月日 | ■ 紹介元医療機関名 |
| ■ 連絡先（住所・電話番号） | ■ 紹介状に記載の宛名 |



北海道大学病院地域医療連携福祉センター

NEWSLETTER 11

2025.



information ID-LinkによるICT連携のご案内

当院では、患者様の診療情報を共有する地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」を導入しております。

この度、地域の医療機関の皆さまへの情報提供を開始いたしましたので、お知らせします。また、ID-Linkを通じた情報共有を推進しており、連携機関の拡充を図っております。

つきましては、当院へご紹介いただいております患者様の診療情報の参照を希望される場合は、下記申請フォームにてご申請くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、当院地域医療連携福祉センターのHPより、ご確認ください。

閲覧可能な情報

- ・入退院情報・処方・注射・検体検査・DICOM画像・放射線検査オーダー・生理検査・食事
- ・内視鏡検査退院時要約・簡易サマリー（病名・アレルギー）・身長、体重、血液型



申請はこちから

スポーツ医学診療センター — 関節治療の最先端『PFC-FD療法』を開始

2ページ

むし歯科 — ルートZX3（モリタ社）による革新的治療

3ページ

- ・予約方法のご案内
- ・ID-LinkによるICT連携のご案内

4ページ



FOCUS 整形外科・スポーツ医学診療センター

> 関節治療の最先端『PFC-FD療法』を開始しました。

◎『PFC-FD療法』とは？

患者様ご自身の血液から抽出した成長因子を凍結乾燥させたPFC-FD™を関節内に注入し、痛みと炎症の軽減を図る新しい治療法（自由診療）です。日帰り治療が可能で、手術や入院の必要がありません。保存療法では改善が見られない方や、手術に踏み切れない方にご提案いたします。



◎主な『対象疾患』の例

- 変形性関節症（肩、肘、股、膝関節など）
- 靭帯損傷（膝前十字、膝後十字、肘内側側副靭帯損傷）
- 腱炎（膝蓋腱損傷、肩腱板炎、腱板損傷）

お気軽に
ご相談ください。



> スポーツ医学診療センターのご紹介

当院では、国内でいち早く1999年に「スポーツ診療科」を開設し、国際レベルの診療活動を展開してきました。

また、2004年からは北海道日本ハムファイターズのチームドクターを務め、国民に向けた幅広いスポーツ医学の啓発活動を通じて、社会貢献にも力を注ぎました。2013年には、これまで培ってきたスポーツ障害に対する診療実績を基盤として、「スポーツ医学診療センター」が院内に開設されました。これにより、各診療科との連携が一層強化され、より高度な医療の提供が可能となっています。

世界をリードする “関節鏡を用いた低侵襲手術”

関節鏡は、日本で開発された整形外科領域における三大技術革新の一つとされており、日本発の関節鏡技術を応用了した手術手法は、国際的にも高く評価されています。

当院では、20年以上前から関節鏡を用いた低侵襲手術（関節鏡視下手術）を導入し、多様な術式を開発・確立することで、世界の整形外科分野において指導的な役割を果たしてきました。

関節疾患の診断においてはMRIの有用性が高まっているものの、関節内構造を直接観察可能な関節鏡は、依然として診断および治療において重要な位置を占めています。

 各分野（上肢、下肢、股関節、脊髄）のエキスパートが診察を担当しますので、スポーツで起こる怪我に対して、より専門的で集学的な治療が可能です。



写真一番右 センター長 近藤 英司 教授（下肢担当）
写真左から2人目 門間 太輔 助教（上肢担当）
写真右から2人目 後藤 佳子（下肢担当）
写真一番左 横田 正司（下肢担当）



受診希望の専門分野がお決まりの方は、事前にお問合せください。

011-706-5761 (平日8:30~17:00)

FOCUS むし歯科

> 今ある歯を残すために全力を尽くす



医師紹介

ともきよ あつし
写真右 友清 淳 教授 むし歯科（歯科保存学教室）

日本歯科保存学会上級医および歯内療法学会専門医として、患者さんの歯の保存に向き合っています。

といだ ゆう
写真左 戸井田 侑 助教 むし歯科（歯科保存学教室）

日本歯科保存学会認定医として、日々研鑽を積みつつ診療しております。



> ルートZX3（モリタ社）による革新的治療

本機器では、根管内に挿入した器具から高周波電流を通電すると、器具が届かない部位で発熱し、放電、プラズマが発生して細菌の除去が可能となりました。従来であれば抜歯や手術を選択せざるを得なかった症例でも、本機器の仕様により歯を保存できる可能性が向上しました。一方で、新しい機器であることから、導入施設は限られています。

"こだわり"は他にも

当科では、マイクロスコープ（歯科用顕微鏡）を用いた精密な根管治療を実施しています。肉眼では確認困難な細菌感染部位を確実に除去することで、治癒率向上に努めています。また、形状記憶特性を持つニッケルチタンファイルを使用することで、湾曲した複雑な根管にも精緻に対応可能となり、治療期間短縮と患者様の負担軽減を実現しています。



このような症例は是非お任せください

- 通常の根管治療で改善しない難治例
- 大きな根尖病変があり、保存的治療に苦慮している症例
- 患者様が強く歯の保存を希望されている症例
- 根管が狭窄・閉塞しており、穿通困難な症例

当科では、これらの最新技術でも対応困難な場合には、歯根端切除術などの外科的処置も含めた包括的な治療が可能です。北海道では歯内療法を専門とする施設が限られており、当院が地域の最後の砦として、歯の保存に全力で取り組んでまいります。

本件に関するお問合せ先

011-706-4261 (平日8:30~17:00)

地域医療連携福祉センターNEWSLETTER 03